

# フィロソフィー

## 研修を受けて

京セラ創業者・稲森和夫が掲げた経営哲学であり、生きる指針として受け継がれる「フィロソフィー」。入社し初めてフィロソフィー研修を受けた菊地さんに、研修で学んだことや生活や業務にどう活かすのか、感想を伺いました。



きくち かずみ  
佐渡営業所 菊地 一美さん

### 研修のテーマと内容

#### 2つのテーマに沿った体験談を発表

大きなテーマは「素直な心を持つ」「感謝の気持ちを持つ」。**人間としての初歩的なところに立たされたという印象でした。**さらに「今まで意識できていなかったこと」「意識したことの体験談」などのテーマもあり、グループ内で話し合って代表者が発表しました。

私がグループで話したのは、家族との接し方についてです。忙しいときやイライラして自分に余裕がないと、家族だと本音をぶつけ合ってケンカしてしまいがちです。「自分が悪かった」と思いながらも非を認めないことや、子どもに「私はママの操り人形じゃない」と気持ちをぶつけられたこともあります。

冷静になって考えると、私も反抗期のときは両親や先生の言うことに聞く耳を持ちませんでした。しかし進路のときに素直な心でアドバイスを聞いていれば、今頃は違う道を歩んでいたかもしれないと後悔している点もあります。だからこそ子どもにも言うてしまうのですが(笑)家族は距離が近いので、素直になるのはなかなか難しいですが、子どもの自尊心を大事にし、「言い過ぎた」と自分の非を認めて謝って仲直りするのが理想的。

**職場でも、捉え方により、自分の発言で嫌な印象を与えてしまうことが今後もあると思います。そのときは素直な気持ちで対応していこうと考えています。**皆さんのいろいろな考えを知って、自分にもプラスになったと感じています。

### 今後の意気込み

#### 初心に帰るためのフィロソフィー

フィロソフィーは、今回の2つのテーマのほかにもいろいろなテーマがあります。会社にとってはプラスのことばかりですし、人としても当たり前のことばかり。初心に帰るためのフィロソフィーだと感じました。フィロソフィーを意識しながら、初心に帰ってがんばっていこうと思います。



### 業務における研修の成果

#### 常に感謝の気持ちを意識

勧められて2023年2月に研修を受けました。実は当初、研修を受けることはいいことだとかわかっていても、内容が難しいと感じましたし、正直乗り気ではありませんでした。

しかし研修を受けた後は、人間として当たり前のことについて再認識しました。**お客様や仕事の仲間に対して「やってもらって当たり前」ではなく、常に感謝の気持ちを持って、意識しながら過ごそうとするようになりました。**

職場では営業や事務、サービスの担当者がいますが、だれ1人欠けても成り立ちません。「これは私の仕事ではない」ではなく、「していただいてありがとう」という気持ちを意識したいと思っています。

営業所には5人の社員が在籍していますが、私を含めた3人が同じ研修を受けました。営業所が働きやすい雰囲気になるように私も努力していますが、私以外の2人もきっと意識しているのだらうと思います。